

令和6年度 第4回細谷小学校学校運営協議会 議事録

全体進行：教頭

記録：教務主任

1 日程の確認

12:30	受付	(家庭科室)
12:40～13:35	スマイルフェスタ	(体育館)
13:50～14:35	授業参観	(各教室)
15:00～15:40	学校運営協議会	(家庭科室)

2 開 会

3 あいさつ

(1) 会長挨拶 川中子 源 PTA会長

長時間、ありがとうございました。

なんでも発表会の感想をいただきたい。よろしくお願いします。

(2) 校長挨拶 坂本 美保 校長

スマイルフェスタ（人権集会）、授業参観で、子どもたちの様子を見ていただいた。修学旅行、宿泊学習等の大きな行事が終わった。

来年度に向けての計画を立てていく時期となってきた。よろしくお願いします。

4 協 議

【進行：会長】

(1) 本日の活動について

なんでも発表会

- ・子どもたちがよく発表していた。習い事をさせている保護者も大変だなあと思った。
- ・いつも見ている児童（学童）と違った姿を見ることができ、うれしかった。
- ・なんでも発表会のレベルが上がっている。最後まで自分のやりたいことを続けることが大切だと感じた。
- ・まさに人権教育、自尊感情を育てることができていた。
- ・今の子どもたちのやっていることがすごい。
- ・好きなこと、得意なことの発表ができることがよい。
- ・小学生から、人前で発表できている、恥ずかしがる子がいないのがすごい。
- ・堂々とできる姿に感動した。中学校でもこのまま前に出て、活躍してほしい。

人権擁護委員さんの話

- ・人権集会と授業参観を同じ日に行うことで、保護者にも啓発できていた。
- ・人権について、子どもたちにとっては難しい。人権擁護委員さんがドラえもんを使ってお話よかった。

授業参観

- ・児童主体の授業があった。
- ・少人数だからできる授業を行っていてよかった。
- ・工夫された道徳の授業をみることができた。
- ・自分が受けてきた道徳の授業との違いを感じた。

(2) 児童の学習・生活状況について（校長）

- ・学校だより「いきいき細谷っ子」12月号の写真参照
大きな行事が終わり、落ち着いて学習ができている時期である。

(3) 地域コーディネーターの設置について（教頭）

学習支援ボランティアや環境整備ボランティアをお願いしている。環境整備ボランティアの活動数は、難しい状況である。学校で保険加入をしているので、毎月、活動を報告している。今年度5月からの集計で、樹木選定4名、草むしり8名（延べ人数）であった。学校としてはもっとお願いしたい。自治会長さんには回覧板を回しご協力していただいているが、うまく伝えられていないのが現状である。この策として考えたのが「地域コーディネーター」の設置である。

(資料より) 地域コーディネーターとは

- 「学校間との連絡調整、学校のニーズを受け止めて地域に伝える、協力していただける方を連れてくる」このような仕事をしてくださる方が地域コーディネーターである。
- 地域コーディネーターを設置することでの利点
 - ・地域の方なので、ボランティアの募集が効果的に進められる。
 - ・子どもたちにとっては、多様な人とのコミュニケーションを経験できる。地域への愛着を深めることができ、地域に守られ生活することができる。
- 課題
 - ・下野市には、地域コーディネーターを設置している学校がない。

【地域学校協働活動推進委員 熊倉様より】

栃木県の中でも地域コーディネーターを設置しているのは半分くらいである。下野市は公民館ごとに地域コーディネーターがいるので、学校ごとではない。宇都宮市には学校ごとに4人ほどいるところもある。学校に近い人が地域コーディネーターになることが望ましい。地域との関係を深めることで地域が発展し、子どもたちの成長にもつながるからである。

※学校運営協議会が中心となって、その役を担っていただくことも考えられる。

次回の学校運営協議会で協議していただきたいので、考えをまとめておいてほしい。

5 事務連絡

(1) 第5回学校運営協議会について

日時：令和7年2月17日（月）10：30～12：45（予定）

日程：10：30～12：05 協議会

12：05～12：45 給食試食

内容：学校評価について、地域コーディネーターについて
情報共有

(2) 令和7年度学校運営協議会委員について

6 閉会